

## 環境を守り育てる人材育成事業について

岩手・青森県境産業廃棄物不法投棄事案に対する住民や行政の取組みを大切な教訓として後世に伝えていくことを目的として、カシオペア環境研究会の協力のもと、高校生を対象に出前授業を実施した。

### 1 開催状況

- ・第1回目 6月23日（木） 福岡高等学校1年生 101名
- ・第2回目 11月28日（月） 福岡工業高等学校1年生 59名

### 2 実施内容及び結果

実施内容については、令和元年度と同様に、平成29年度に作成したDVD「つなぐ、未来へ～岩手・青森県境不法投棄問題～」の上映及び事案を担当した元県職員からの講義を行った。

福岡高等学校及び福岡工業高等学校の受講者に対し実施したアンケートの内容及び結果は、次のとおりである。9割以上の生徒が内容を評価する一方、約7割の生徒が不法投棄事案を知らなかったと回答しており、取組を継続していく必要がある。



【福岡高等学校】



【福岡工業高等学校】

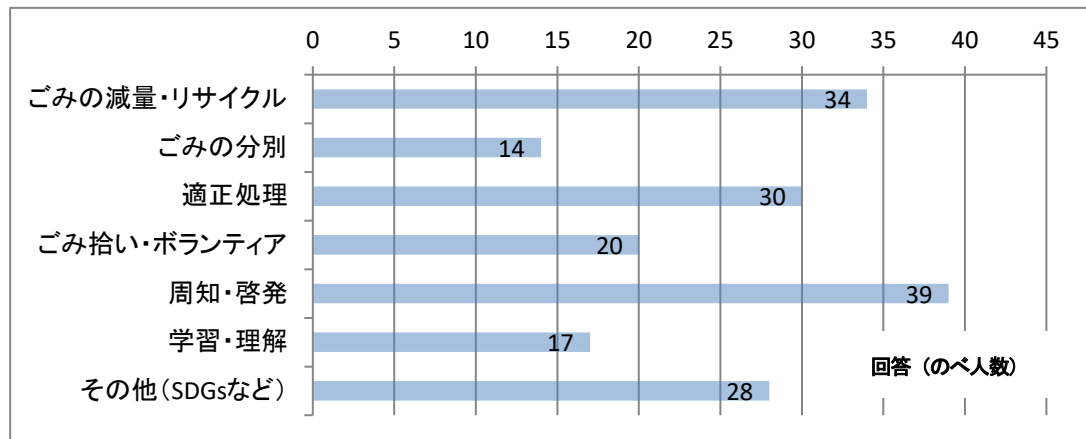
#### 問1：県境不法投棄問題を知っていましたか。

- よく知っていた … 4名（3%）  
 聞いたことがあった … 32名（22%）  
 全く知らなかった … 111名（75%）

#### 問2：授業内容はいかがでしたか。

	DVDの内容	講義内容
非常に良かった	86名（57%）	98名（64%）
良かった	57名（37%）	49名（32%）
普通	7名（5%）	6名（4%）
良くなかった	2名（1%）	0名（0%）

問3：環境を守り、次の世代に引き継ぐため、今、私たちができることは何だと思いますか。  
(複数回答)



#### 主な感想・意見

- ・環境を回復するために時間とお金がかかるけれど、次世代のために活動をしていて自分も周りのための活動をしてみたいと思った。
- ・不法投棄をしない・させないという強い気持ちを一人一人がしっかりと持ち、それを伝えていくことが大切である。
- ・岩手県、青森県の県境不法投棄問題だけでなく、不法投棄について正しい知識を学ぶことが大切だと思います。そしてそれを風化させぬよう伝えていくこと。一人ひとりが意識を持ち、未来責任を果たしていくべきだと思います。
- ・ゴミを分別したり、リサイクルしたりするなど環境に負担の少ない行動を一人一人が行い、後世に伝えていくことが大切である。
- ・正しくゴミを捨てることや、ごみ拾いなどのボランティア活動に積極的に取り組むことが大切である。
- ・自分たちの身近な「ゴミ」について深く考え、少しでも減らすよう行動することができると思います。そして最終的に地球環境も守ることができると思います。
- ・SDGsについて積極的に取り組んで、日常生活の中でできることを意識する。たとえば、ゴミを減らすなど。